

# 全国一般神奈川

発行者  
 全国一般労働組合全国協議会神奈川

横浜市中区翁町 1-5-14  
 新見翁ビル4F  
 TEL. FAX.  
 045-319-4391

## 全ての職場で23春闘を闘おう！

誰もが安心して働き・生活できる社会の実現のために！



1/20 県共闘 23 春闘学習会 講師：全国一般全国協 大野副委員長

### 春闘学習会を受けて、ともに23春闘を闘おう！

年明けとともに、23春闘がスタートしました！ 神奈川県共闘では、去る1月20日、Lプラザに18名の仲間が参加し、全国協の大野副委員長を講師に春闘学習会を開催しました。

全国一般全国協では、23春闘方針案において、円安・物価高騰に対する生活防衛として、今

春闘で大幅賃上げを打ち出すことを柱として掲げ、更に今春闘においては、戦争をする国づくりのための軍備増強・改憲阻止、原子力政策の大転換を許さないという課題を確認しています。春闘は労働者の生活、命と権利を守る社会的な闘いであり、職場単位の賃上げだけでなく、働く者の要求を地域・全国の仲間とともに束ね、大きな声にしていく運動でもあります。

大野さんの講演は、以上の春闘方針と合わせて、「23春闘を闘うために」と題したレジュメに沿って、日本という国の力が落ち続け、急速に貧しくなりつつある時代状況の中、労働組合はどのような闘いを展開していくべきなのか、という視点からの問題提起でした。

### 2月支部代の神奈川春闘学習会を成功させ全職場での要求書提出を！

日本の一人当たりGDPは、90年代初頭には世界第1位で「ジャパンアズナンバーワン」と言われていましたが、それは遠い過去の話。現在では34位と著しく「競争力」が低下し、低賃金に張り付く若者、女性を中心にとした非正規労働者の姿が当たり前のものとなっています。大野さんは、職場で低い賃金の人を引き上げるために、最賃闘争の重要性を強調しながら、その一方で、なんでもお金で買えるとする市場至上主義に抗して、人と人とのつながりに基づく労働組合が、見えない貧困を可視化し、おかしいことはおかしいと言える春闘をつくっていく、と提起されました。

私たちの賃金、労働条件は、経済状況や労働政策、社会保障政策など、社会のあり様に強く影響されており、個別職場の闘いを「春闘」として社会的な闘いにつなげていく必要があります。労働組合としての課題を整理し、組合要求への職場の共感を広げ、分断化されつつある個々の仲間を組織化し、自分たちの労働条件は集団的労使交渉で決めるといふルールを定着化させるため、23春闘に全力で取り組みましょう。そのために神奈川学習会で各職場の要求や交渉経緯を共有化して交渉力を高め、一つでも多くの職場での春闘要求書提出を目指していきましょう。

### スケジュール

- 2月15日 20時 事務所 LINE 神奈川合同支部会議
- 2月17日 12時 経団連前 けんり春闘総行動
- 2月17日 17時30分 横浜YMCA 横浜YMCA 団体会交
- 2月19日 10時 事務所 機関紙発送作業
- 2月19日 14時 寿公園 寿労働相談
- 2月20日 19時 事務所 第5回担当者会議
- 2月21日 13時30分 県労委 松浦組県労委第1回あせん
- 2月22日 16時 平労会館 FF1500 実行委員会
- 2月24日 17時30分 横浜西口 JAL 横浜西口情宣行動
- 2月26日 14時 技能文化会館 01 第5回支部代表者会議 春闘学習会
- 2月28日 19時 事務所 県共闘事務局会議
- 3月4日 14時 建設プラザかながわ 最賃の大幅引き上げを目指すポスター
- 3月9日 19時 事務所 県共闘幹事会
- 3月12日 14時 厚木ファミリー 郵政会議
- 3月5日 10時 西平畑公園 松田 レクレーション 23年お花見
- 3月17日 23 神奈川春闘一日行動

# 全国協各県代表者会議 2023 春闘方針を確認



1月28日(29日)に東京新橋はる一会場とズームを併用して開催され、神奈川からは3名が参加した。この1年間はコロナ過に加えウクライナ戦争による物価高騰が中低所得者の生活を圧迫し、貧困格差がますます拡大している。28日の神奈川大学の場教授はグローバル化が日本の労働者にもたらしたものについて世界的視点で講演され、現在の状況を理解するのに有意義であった。日本の問題点の解決策も提案され、知的労働者にも必要があり、そのために賃金上昇とバカンス休暇が必要であるとのことだった。日本のためにもおおいに賃上げを求めていきたい。分科会(1)では最賃と春闘・職場闘争・春闘で大幅賃上げを実現しよう!最賃と職場から」として、渡良瀬

ユニオン嶋田書記長は物価上昇率よりも低い最低賃金の改定は問題であり、10月の年一回の改定だけでなく再改定を求めよう呼びかけた。平賀中央執行委員長からは東京南部のハイウェイ共闘会議の経験を通じ、親会社の単価水準を要求の根拠として活用することや、地域・業種につながり平均賃金など調査活用し、春闘賃金闘争の社会的広がりを作り出そうと提案があった。分科会(2)では均等待遇・同一労働同一賃金をテーマに星野副執行委員長からキステム闘争の有期・パート法違反裁判の状況が報告された。京都ユニオンから有期・パート法の説明責任を活用した「質問書」を活用し均等待遇を求めるY社の闘いについて報告された。

29日は「23春闘方針案」が提起され、9つの加盟組合の闘争や反原発、平和活動の報告が行われた。最後に23春闘宣言「闘う23春闘を実現しよう、働く者の怒りと不満を説教的に共有する職場・要求討論を巻き起こそう、40年、50年単位の大きな時代転換を迎えているいま、地域社会へ運動をつなげよう」が決議された。神奈川も全国の仲間と共に力強く闘おう!(清水真樹子)

## 2 3 春闘をともに闘おう!

全国一般神奈川 各支部・職場からの決意表明①

社会福祉法人らぼおるの樹分会は僅かな組合員による取り組みから始まりましたが、法人の不当な扱、理不尽さに抗すことと急速に組合は拡大してきています。

当組合は、法人との交渉それと並行して労災職業病の取り組みをしています。しかし、理不尽且つ不当な実態が明らかになり、企業ガバナンスの悪化を感じざるを得ません。単に理不尽な企業運営の一面を捉えるだけではなく、企業ガバナンスの回復正常化が見込まれるのかという課題が見えてきました。

理事の中から「経営危機を連呼するようになってきました。(いつもの常套手段かもしれません)が、そうであれば、今後見込まれるであろう、合理化、首切り差別化等に立ち向かう必要があります!」

らぼおるの樹 八谷

神奈川県匡済会野庭風の丘の野中です!働く職場は養護老人ホームの支援員をしています!春闘要求事項として、65歳定年制の職場ですが、60歳から定期昇給が無く、労働は変わらずです!毎年団交で申し入れていますが、財政難と云うことで賃上げはありません。電気ガス生活必需品の値上げが相次ぎ苦しい状況を、打開するため今年こそは定期昇給とベネフィットを勝ち取りたいです!

神奈川県匡済会 野中

今年も昨年同様に春闘要求書を出して、南関東支社の賃金や制度要求、組合員が所属する各郵便局には個別の労働条件について要求し交渉していきます。昨年一年間の日本郵便の不誠実な対応や協定書締結の拒否に対して、今年こそ壁を破っていきたいと思います。皆さん、ご支援宜しくお願いします。

郵政 瀧山

2022年冬季一時金についても継続交渉中です。会社は一時金アップできない理由を売上が上がらないと説明しながら、売り上げを上げる方策を取れないまま、歩み寄りを見せることはありませんでした。この急激な物価高騰に対して昨年並みの賃金では生活が苦しくなるばかりです。会社は根拠なく売り上げ減を従業員への責任として夏季休暇を減らそうとさえしています。生活と権利を守るため春闘頑張ります。

テクノエーブ 清水

## 第35回定期大会開催 生活クラブ生協支部

1月28日、生活クラブ生協支部は新横浜・オクタにて第35回定期大会を開催しました。今年度もコロナ禍の下、来賓招請は行わず支部組員25人中、8人の会場出席と3人のオンライン参加、11人の委任で大会は成立し、21年度総括・会計報告、22年度情勢および活動方針・予算が提案とあり承認され、役員選挙も立候補者全員が信任されました(三役は委員長・八木、副委員長・綾部、書記長・小畑)。これからも全国一般神奈川、県共闘、全国一般生協部会の仲間と共に闘っていきます!(小畑)

## 3・4 FF1500 神奈川最賃シンポジウムに参加しよう!

14時~建設ふらざかながわ(JR東神奈川下車)

ウクライナの戦争、円高、消費者物価の高騰の猛威により庶民の生活は崖っぷちに来ている。

岸田首相は物価上昇を上回る賃上げと言っているが、大企業に限定された話である。日本の労働者の70%は中小企業に働いており、中小の経営者の70%は賃上げは難しいと言っているのだ。大企業の労働者だけの賃上げは格差を拡大するだけでなく、庶民の生活破壊が促進されるのである。圧倒的中小の労働者の賃金はすでに最低賃金に貼りついているのである以上、最低賃金時給1500円を要求して、最賃アップの運動を全労働者に波及させるための職場の団体交渉の実現が不可欠と言わざるを得ない。防衛費を拡大するのではなく少子化対策、労働者の生活防衛が大切である。

23春闘の只中、中小未組織の団結を深め最低賃金闘争を押し進めていこう!

3・4最賃シンポジウムから3・17春闘1日行動に参加して生活防衛の23春闘の闘いを切り開こう!(采山)